

大妻同窓会長野

大妻神社の秋の例大祭に招かれて

大妻学院理事長 花村 邦 昭



長野県は松本市梓川倭の大妻神社秋の例大祭に招かれて、平成26年9月23日（秋分の日）に秋晴れの信濃路を2年ぶりに訪ねました。緑の山々、黄金なす稲穂の実り、清らかに流れる小川のせせらぎ、これらの日本の原風景に浸ることができて心身ともに癒やされる一日となりました。

今年は、大妻コタカ先生生誕130年の記念すべき年でもあるということで、コタカ先生の郷里の広島県世羅町から奥田正和町長様はじめ大妻コタカ顕彰会の方々12名も例大祭に参加されました。大妻同窓会長野会員の皆様はじめ地元の皆様とも親しく交流して頂ける良い機会となりました。

大妻神社の鳥居の横には昭和39年にコタカ先生が植樹された記念の杉の木が今年になって新たに確認されました。神社の氏子の皆様が「大妻コタカ先生記念植樹の杉」の標識を建ててくださっています。皆様もご参拝の機会があれば是非ご覧になって下さい。

大妻良馬氏のことについては、先に『大妻良馬の人と思想』と題して、一冊の書物（電子出版<<http://www.ihs.otsuma.ac.jp/ebook/book.php?id=1>>）にまとめておきましたので繰り返しません、ひとことで云って「忠君愛国」の武人です。「国民の康福と世界の平和をつねに祈念しておられる天皇陛下の赤子として、その美しい国体を何としても護持し奉ろう」という熱誠において、良馬先生は人後に落ちることは決してありませんでした。当時と時代は大きく変わってはいますが、「国のかたち」が崩れ見えにくくなってきている昨今、改めてその意義が見直されるべきだということだけは申し添えておきたいと思います。

大妻神社例大祭の帰途に「岡谷蚕糸博物館」を見学させていただきました。富岡製糸場が世界遺産に登録されたこともあってか、当日も多くの見学者で賑わっておりました。（株）宮坂製糸所社長の宮坂照彦様から糸織りの実演も詳しくご説明いただき、現代に生きるわが国古来の伝統技術の奥深さに改めて深い感動を覚えました。皆様にも是非の拝観をお勧め致します。

さて、折角の機会を頂きましたので、大妻学院の近況およびこれからの将来展開構想について記させていただきます。

ただいま、千代田キャンパスの再開発工事が着々と進められております。26年9月の本館ビル（E棟・F棟と呼んでいます）完成に続いて、ただいま旧体育館の跡地にG棟を、新本館ビルの北側に新たに取得した用地にH棟を平行して建築中です。いずれも29年（2017）春頃に完成の予定ですが、これら一連の工事が完了いたしますと、千代田キャンパスは土地面積6,522坪、校舎建坪25,837坪と都心ではちょっと目を引く大型の校舎となります。大妻良馬・コタカ両先生が大正6年（1917）に最初に千代田の現在地に校舎用地を取得されてから100年で、校地面積は約13倍強、校舎建坪は約180倍となる計算です。

27年4月には、現在は狭山台キャンパスで学んでおります家政学部と文学部の1年生が千代田に移転いたしますし、平成30年にかけて多摩キャンパスの社会情報学部、比較文化学部の2学部も順次千代田キャンパスへ移って参ります。すべての移転が完了しますと千代田キャンパスで学ぶ大学生の総数は約6,500名となります。中高を加えますと千代田での学生・生徒数は約8,200名を数えることとなります。

問題は、千代田キャンパスに集結した後の多摩キャンパスでどういう新学部を立ち上げるか、空いた狭山台キャンパスの跡地をどう活用するか、27年4月に完成する新しい加賀寮にどういふ特色をもたせるか、などです。いまのところ、多摩キャンパスでは新しく社会公共系と健康美学系の2学部（学科）の立ち上げを検討中です。狭山台キャンパスの跡地では地元の間間市の希望も容れて高齢者用の総合的な健康管理施設やスポーツセンターなどを設けることを考えています。その具体的な内容については省略させていただきますが、要は、これから女子大学が取り組むべき課題に応える新しい学問分野、あるいは事業分野を開拓しようということであり、新・加賀寮では広く世界中から30名程度の留学生を受け入れようと考えています。加賀寮が日常生活の中で自然に国際的なセンスが身につくような国際女性会館のような存在になればと願っています。

皆さまには少しお分かりにくいかと思われ、健康美学系の学部創設について少し補足させていただきます。いまわが国は急速に高齢化社会へと突入しています。このままでは医療費負担で国の財政はやがて破綻します。それを避けるには、高齢者ができるだけ長く健常な生活を送れるような社会を作らねばなりません。欧米では、これを“Health and Wellbeing”と呼んで、すでに立派な学問分野となっております。大妻学院がいま考えておりますのもこの分野でのわが国の魁になろうということでもあります。

大妻コタカ先生 生誕130年記念顕彰事業

大妻学院企画

大妻神社参拝、コタカ先生お手植えの杉見学

—— 平成26年9月23日 ——

昭和38年9月21日の大妻神社拜殿改築を祝し、翌39年3月23日コタカ先生が記念の杉を植樹されました。平成26年はコタカ先生生誕130年の年であり、又植樹50年にもあたりました。

コタカ先生お手植えの様子
(昭和三十九年三月二十三日 大妻神社)



現在の杉



大妻神社にて



(平成二十六年九月二十三日)



大妻神社参拝

大妻同窓会広島^{せら}世羅 代表 伊藤 妙子

大妻同窓会長野の皆さんご機嫌いかがでしょうか。私たちは昨年6月21日コタカ先生生誕130年祭をふるさと広島世羅の地で盛大に行い、それに続いて大妻家発祥の地長野の大妻神社参拝のお話があり、当地から12名が参加しました。9月23日早朝4時に当地を出発し、新幹線・特急と乗り継いで長野に10時過ぎに到着し、宮坂会長様始め同窓会の方々や本部諸先生方にお会いした時は、只ただ懐かしいという気持ちで胸が一杯になりました。

お社の大堤灯や屋台、お母様お手植えの50年にもなる大杉を仰いだ後は由緒ある老舗でのお蕎麦ずくめの昼食会、そして大懇親会があり、松本市内見学では重要文化財の開智学校(明治9年完成)などを訪れました。駆け足での松本訪問でしたが、長野への参拝という長年の思いが叶い本当に嬉しい一時でした。

名残を惜しみながら次の目的地、東京新宿に向かいましたが、学生時代の2年間コタカ先生のお宅で一緒に生活させていただいた長野出身の金沢さんの優しく美しい面影を思い浮かべました。

東京では多摩摩地の大妻良馬・コタカ先生ご夫妻の墓前にお参りすることができました。

長野の皆様、本部の諸先生など多くの皆様の温かいご指導ご配慮の下に今回の旅が実現しましたことを心より感謝いたしております。なお24日夜帰着した私たちにとって3日後の御嶽山の噴火は大きな衝撃でした。犠牲となられた方々の御魂に心からの弔意をささげて止まない私たちです。



大妻神社を訪ねて

大妻同窓会長野 篠原 恵子

大妻家発祥の地であります松本市梓川倭の地、大妻神社の秋の例祭が昨年9月23日(火)に行われました。昨年は大妻コタカ先生生誕130周年記念事業の中で「コタカ先生の足跡を尋ねる旅」が企画され、本会の皆様・世羅顕彰会・同窓会長野支部総勢30名を超える方々とお訪ねすることが出来ました。ゆかりの地は私の住む佐久より暖かく稲穂が黄金色に輝いていました。野々宮神社でコタカ先生直筆の書を拝見し、真家先生のご案内で大妻氏館跡の石碑を見学しました。大妻神社のコタカ先生お手植えの杉は宮司様により標記され大切にされておりました。昼食は本会の暖かなおもてなしにあずかり、皆様と共に良馬先生・コタカ先生に思いを寄せ、親しく和やかに暖かい交流をさせていただきました。午後大妻神社では神事と浦安の舞が奉納され厳かな空気に包まれました。しばらくすると境内の空気が一変します。下大妻と上大妻の2台の山車が、子供のお囃子衆を乗せ、交互に大人が全速力で境内を引き回しあたりには土埃が立ちこめ、その迫力ある様子に祖大妻兼澄公・良馬先生の女子教育に傾けられたエネルギーに思いを巡らせました。

今回花村邦昭理事長ご著書『大妻良馬の人と思想』— 忘私奉公の生涯 — を頂戴いたしました。夢中で読ませていただき、コタカ先生の偉業も良馬先生という力強い確かな理解者であり協力者がいらして推進できたのではと深く感動いたしました。是非ご一読をお勧めいたします。(電子書籍「オーツマeブック」)で見られます。

大妻家ゆかりの地を訪ねながら、関係の皆様との交流を通じ細やかなお心遣い温かいおもてなしを戴き、大妻両先生のお心のあり方にふれさせて戴きました。数々のご厚情を心より感謝申しあげますと共に、同窓会の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

お手植えの杉まっすぐに秋の空

大妻コタカ先生 生誕130年記念事業

大妻学院企画

学祖故郷の旅 コタカ先生 生家訪問

— 平成26年11月1日 —

大妻コタカ先生の生家を訪ねて

大妻同窓会長野 浜 江つ

このお話をお聞きした時、ただ切に行きたいと思いました。

前日宮坂代表と岡山まで行き、11月1日東京からの学院の先生方や、同窓の方々と岡山駅で合流し用意されたバスで広島県世羅町へ伺いました。

あいにく雨まじりの天気でしたが、車中は明るく楽しい空気に満ちていて、一時間半もかかったとは思いませんでした。世羅町の役場では大勢の関係者の方々が出迎えてくださり、三川ダムのある先生の生家までの道のりをバスに先立って案内していただきました。先生が幼い頃、学校までの遠い山道を一生懸命通った所と、想い巡らせながら車の中から眺めました。

静かな景色に包まれた湖面が見えたので、バスを降りると移築された生家が、よく手入れされた植え込みの庭の向こうに見えました。又その隣には久恵という場所がダムになった由の石碑が建っています。

そして懐かしい先生の胸像が私たちを迎えてくださいました。湖水の底にあった不思議な石が祀られている大成神社をお参りしたり、あたりを散策して、今、有名なお食事処「ごもくめし」になっている先生の生家に伺いました。素朴でお膳いっぱい美しく盛り付けされたお食事をいただきながら先生のお姿を懐かしく説明していただきました。

三川ダム周辺は、桜の木に囲まれ、春が殊に美しいとのこと。その後記念植樹や、全員の記念撮影で、延びる時間を気にしながら名残惜しくお別れをし、再び世羅町に戻りました。ちょうどこの日は「教育の日」ということでコタカ先生の母校も、合唱や多くの行事が行われ、学院からお花が贈られ、お祝いの太鼓は「コタカ、コタカ」と鳴り響いて聞こえたと理事長さんは嬉しそうに話されていました。

世羅の方々とお別れし、岡山へと向かう頃は雨足も強く、日も暮れ始めていました。

長いこと願った大妻コタカ先生生家訪問ができ本当に幸せに思いました。もっと多くの同窓の方々が訪れてくださるようになりたいながら、そして皆様の暖かいおもてなしに感謝して帰路に着きました。



コタカ先生像



百日紅の記念植樹



記念樹をバックに

一般財団法人大妻コタカ記念会 法人設立40周年記念文化講演会が開催されました。

東儀秀樹 ～雅楽のしらべ～

於 大妻講堂 平成26年11月29日

照明によって様々な色に変化するパイプオルガンをバックに、日本古来の楽器の奏でる深い音色を堪能しました。

第18回総会と1年を振り返って

代表
宮坂 徳子

会員の皆様、いかにお過ごしでしょうか。

昨年の総会も5月15日、記念会会長の井上小百合先生をお迎えして下諏訪の聴泉閣かめやで開催致しました。初参加の方、久々の参加の方も何人もいらして盛会裡に開催できました事、感謝申し上げます。

議事において、例年、秋分の日(9月23日)に開催されております大妻神社例大祭に、地元同窓会として役員が参拝させていただく事が、事業として承認されました。喜ばしく感謝申し上げます。当日は会員の皆様も多くの方にご参拝頂き、良馬先生コタカ先生を偲び思いを寄せ頂ければ何より、とご案内とお願いを申し上げます。

コタカ先生生誕130年にあたる昨年は、学院主催でいくつもの素晴らしい記念事業が実施され、又、記念会法人設立40周年の年にもあたり、記念文化講演会が盛大に行われました。記念事業とはいえ、大妻神社に花村理事長はじめ学院、記念会、コタカ先生顕彰会などの大勢の皆様が、訪れて下さった事は画期的な事だと思います。又、夢のまた夢であったコタカ先生の故郷訪問を実施して頂き、嬉しい出逢いや感動的な久恵の自然を心に刻む事ができました。

同窓会長野が大妻神社を通じて学院と世羅町と直に繋がったような喜びをかみしめております。学院の発展と同窓の皆様とのご縁が更に深まりますよう、願って止みません。



大妻同窓会長野 総会 2014.5.15

第18回総会での決定事項

1. 例年9月23日の大妻神社例祭には、同窓会長野として役員が参拝する事を事業の1つとする。
1. 文化講演会は平成29年以降とする。

第19回 大妻同窓会長野 平成27年度総会のご案内

1. 日 時 平成 27 年 5 月 15 日 (金)
午前11時～受付
午前11時30分～総会、懇親会

1. 会 場 **松本ホテル花月**
松本市大手4-8-9 TEL (0263) 32-0114
松本城近くの明治29年創業の老舗ホテルです。今は北欧調の外観ですが、調度品は全て松本民芸家具で統一されています。

1. 会 費 6000円

註) お手数でも出欠席にかかわらず同封のハガキを4月30日(木) 必着で返信くださいますようお願いいたします。

連絡先 宮坂徳子 電話

会費納入のお願い

会費未納又は平成 26 年度で会費の切れる方には振替用紙を同封しております。

振込先 郵便振替 口座

1年間 1,000円 (何
振込み手数料 80円 (A

ができます。

振込先	銀行名
	金融機関コー
	店番
	店名(カナ)
	預金種目
	口座番号
	カナ氏名
	(受取人名)

※大妻コタカ記念会への入会も 会誌が配布されます。

現在の母校の様子等が細かく記載されております。

※本誌掲載の写真は一部記念会ブログより転載しております。

編集後記

学院理事長花村邦昭様には、進化し続ける学院の近況と将来展開構想をお記いただきました。深謝申し上げます。世羅代表、伊藤妙子様にもあたたかなお心をお寄せいただき、ありがとうございます。

大きな記念の年ならではの交流をさせていただいた1年でした。これからも学院の発展と共に同窓の絆がより一層深まりますよう、願っております。
(浜江つ、藤澤真由美)

発行者…大妻同窓会長野

宮坂徳子 TEL

発行日…平成 27 年 3 月 31 日

印刷所…(有)ミヤサカ印刷
松本市島立 1144-1
0263-47-3017